

# 盛岡聴覚支援学校

## 研究テーマ

「人とのかかわりの中でことばの力を高めるための支援の在り方」(2年次研究1年目)

### 1 全体研究

#### (1) 主題設定の理由

文部科学省では教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力の中でも、言語能力を構成する資質・能力は、子どもたちの学習や生涯にわたる生活の中で極めて重要な役割を果たすものであるとしている。

本校の教育目標は、「豊かな感性と思考力、しなやかな心と体、思いやりをはぐくみ、自らを知り高め未来を切り拓く人間を育成する。」である。幼児児童生徒個々の実態に合わせた音声、手話、文字、指文字を活用した対話、わかりやすい授業を工夫する中で言語力を伸ばし、将来社会で生きるために必要な思考力・判断力・表現力の向上を図ることを重点としている。

また、令和2, 3年度校内研究のまとめとして、「思考力・判断力・表現力」を育むためにはことばの力を高めることが必要不可欠であること、人とのやり取りの中でことばの力が高められることを共通理解した。

以上のことから、人とのかかわりを通してことばの力を高めることが、幼児児童生徒にとって生きる力の育成につながると考え、本テーマを設定した。

※本研究でことばとは、音声、手話、文字、指文字、身振りなど意味のある表現を指す。

#### (2) 研究の目的

幼児児童生徒が人とのかかわりを通して、ことばの力を高めるための支援の在り方を明らかにする。

#### (3) 今年度の実践

##### ①全校研究会

5月：校内研究の方向性の確認

7月：各学部の研究テーマについて

2月：1年次研究のまとめ

##### ②学部研究会(9回)

各学部でテーマを設定した研究会

##### ③全校授業研究会

高等部 自立活動「お店を開こう」(国語)

## 2 各学部研究

### (1) 幼稚部

幼児が自分の思いをことばで表現する楽しさ、伝え合う喜びを味わうために

### (2) 小学部

個々の言語発達の実態に応じた指導の工夫

### (3) 中学部

「伝える力」「伝わることば」を身につけるための授業実践

### (4) 高等部

それぞれの生徒に応じたコミュニケーションの力を育てる～文字など様々なツールの活用について考える～

### (5) 寄宿舎

正しいことばを身につけるための支援の在り方～聴覚障がいの特性に配慮した実態把握と支援～

## 3 講演会

「ことばの力を高めるための授業づくり」

講師：広島大学 特別支援教育学講座

准教授 林田 真志 氏

期日：令和4年8月5日(金)

参加者：51名

## 4 研修会

### (1) 職員研修会全8回

(うち4回は外部公開)

## 5 他の教育研究機関との連携

・全日聾教育研究愛知大会(10月6・7日)

・東北聾教育研究宮城大会(11月17・18日)

・岩手県きこえ・ことば・LD等教育研究会